

令和7年度 定時制の課程 前期（第72回）卒業証書授与式 式辞

ついこの間までの酷暑もようやく落ち着きを見せ、朝晩の涼しさに秋の訪れを感じさせるようになった、今日のよき日、ここに令和7年度前期卒業証書授与式を挙行できますことを喜ばしく思います。

さて、卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

あなた方は、本校で学ぶことを選択し、今、ここに卒業の日を迎えることができました。本校を選択することに、さまざまな思いがあったかもしれません。そして、今日のこの日を迎えるまでにも、人並みならぬ努力をしてきたことでしょう。

さて、本校では、「過去は変えられないが未来は変えられる」という言葉を糧にして、本校で新たな自分を見つけようという方針を立てています。まさにそれを体現して、今ここにいることと思います。

これからは、学校というところから離れて、社会で生活することになります。社会とは、先がよめないところでもあります。学校と違って、答えがないところです。自分で答えを探し出すところです。そんな社会で生き抜くのに大切なことはいったい何でしょうか。それは、あなたが今まで、本校で培ってきた、こつこつと物事に取り組むことです。こつこつと丁寧に取り組むことにより、やがて成果があらわれてきます。あなた自身が成果をあらわすことができた、本校での取り組みを社会でも実践してください。

今後は、「利他の心」を持ってください。「利己」は自分の利益になることだけを考える姿勢ですが、「利他」とは、相手の利益になることを考える姿勢です。簡単に言うと「人のために」ということです。自分のことだけではなく、人のためになることを考えてみてください。「情けは人のためならず」という諺があります。人に情けをかけることは、それがまわりまわって、自分に返ってくるということです。もちろん、自分のために行動するのではなく、人のために行動することがやがては自分のためになりますよ、ということです。最初から自分のことだけを考えるのではありませんよ、ということです。

学校ではクラスという単位で生活をしてきました。今日を境にそのクラスから離れます。学校を離れます。そして、あらたな環境の中に入ります。どんな環境でも人とのかかわりがあります。人は一人では生きていけません。その環境のなかで「利他の心」をもって、行動してください。

そして、「感謝の気持ち」を大切にしてください。

希望とともに目覚め、感謝の心で寝る、という生活が、幸せな生活だと思います。

今まさに、ここにいるのは、家族、友人、先生たちがあなたを支えてきてくれたからです。そのかかわってくれた人たちに感謝するとともに、やがて出会う人たちにも感謝の心をもって、接してください。そうすることで、きっと世の中を生き抜けると思います。

最後になりましたが、保護者さま、本日はお子さまのご卒業、まことにありがとうございます。お子さまへの愛情をたっぷりと注ぎながら卒業までご支援賜りましたこと、また、三国丘高等学校を、ご支援いただきましたことに深く感謝を申しあげ、式辞といたします。

令和7年9月30日

大阪府立三国丘高等学校定時制の課程

准校長 安達 武史